

7 郡上市立川合小学校

| | |
|------------|---|
| 学 校 名 | 郡上市立川合小学校 (校長 伊地田 香織) |
| 活動の種類・単位 | 4年生児童が、社会福祉協議会に指導・助言をいただきながら、主体的に福祉について学び、学びの成果を保護者や他学年に発表した。 |
| 教育課程上の位置付け | 総合的な学習の時間 |

1 活動テーマ

ふるさと川合地区の福祉についての課題追究を通じた、ふるさとの一員としての自己の生き方の追求

2 主な活動内容



▲ 児童一人一人が課題追究



▲ 校内発表会で福祉に関わる劇を発表

(1)福祉について学ぶ「知る」

社会福祉協議会の方の指導や、各種資料や情報から「福祉」に関わる基本的な知識や、ふるさと川合地区の状況について理解した。

(2)一人一人の課題の明確化と個人追究「気づく」

(1)で得た知識をもとに、児童一人一人が「福祉」に関わる追究課題を設定し、さらにインターネット等を使い情報を収集する、主体的な学びを進めた。その成果をプレゼン形式にまとめ学級内、または授業参観の折に保護者に発表するとともに、ふるさと川合地区の現状や課題について情報交流をした。

(3)学びの成果を発表「伝える」

11月に全校で実施する「文化発表会」において、福祉を題材にした劇を創作し、発表した。このことにより、福祉について「学ぶ」立場から、福祉に関わる「当事者(地域の一員)」としての意識を高めることができた。

(4)地域の一員としての学びを追求「学びを深める」

社会福祉協議会に協力していただき、地域の福祉に関わる施設や、関係者と直接関わる機会を設定した。福祉の「現場」を体験することで、「当事者」意識をさらに高めるとともに、「地域の一員として自分たちができること」という「実践」することの大切さに気づかせた。

(5)地域の一員としての「実践」の発表「伝え広げる」

社会福祉協議会に指導・協力していただき、日常の福祉に関わり大切にしたいことを劇化し、授業参観日に保護者に発表した。1年間の福祉に関わる学びと日常での実践の大切さを、保護者とともに考える機会とした。

| | |
|-----------|---|
| 子供たちに付いた力 | 学びを通して理解した「福祉」に関わる知識をもとに、自分たちの住む地域の福祉に関わる実態や課題について積極的に情報収集するとともに、地域の一員として「自分たちができること」を一人一人が考え、実行する主体性やたくましい実践力を身につけた。 |
| 効果 | 一人一人の児童が「気づき」「考える」ことを大切にしたい取組をした。また、その成果を他学年や保護者に発表し伝える機会を設けた。このことは、4年生の学びを深めるとともに、4年生の学びを広げることにつながった。 |
| 今後の方向 | 本年度の児童一人一人の主体的に学ぶ「気づき」「考え」「実行する」ことを、次年度にもつなげていきたい。活動内容ではなく、児童一人一人の実践力を強くする本年度の「学び方」を継続していきたい。 |